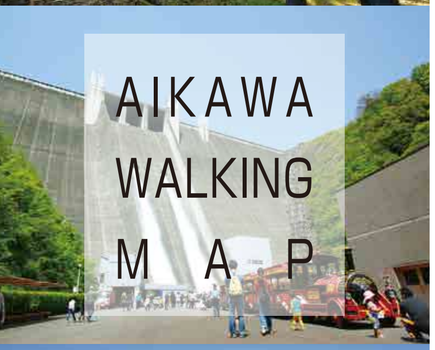


愛川町上空1,500mからの眺望（航空写真）

県立あいかわ公園・花の斜面

【発　行】
愛川町役場　商工観光課
電　話　046-285-6948（直通）
ＦＡＸ　046-286-5021
住　所　〒243-0392
神奈川県愛甲郡愛川町角田251-1

愛川町役場　検索

【お問い合わせ】
- 愛川町役場　電話 046-285-2111㈹
- 県立あいかわ公園
  - パークセンター　電話 046-281-3646
  - 工芸工房村　電話 046-281-2438
  - 町郷土資料館　電話 046-280-1050
- 宮ヶ瀬ダム・相模川水系広域ダム管理事務所　電話 046-281-6911
- 宮ヶ瀬ダム・水とエネルギー館　電話 046-281-5171

【交通機関】
- 神奈川中央交通厚木営業所　電話 046-241-2626
- 中津交通㈲　電話 046-285-2300
- 小田急電鉄㈱本厚木駅　電話 046-228-3210

登山・ハイキングコース

①仏果山・高取山登山

高取山中腹鉄塔眺望

宮ヶ瀬湖や丹沢山地を眺めながらの山歩きは、新緑・深緑・紅葉・落葉といずれの季節も楽しめます。仏果山と高取山の山頂にある展望台（10m）では、360度のパノラマの眺望が楽しめ、天気の良い日に、都心や横浜の風景も見ることができます。

参考コースタイム：♀撚糸組合前【H120m】→（35分）→県道514号・宮沢橋→（85分）→仏果山【H747m】※→（15分）→宮ヶ瀬越【H662m】→（10分）→高取山【H705m】→（55分）→宮ヶ瀬湖登山口【H290m】→（10分）→宮ヶ瀬ダム堤体下→（30分）→♀半原【H120m】

●歩行時間　約４時間　●高低差　約620m

②経ヶ岳・仏果山・高取山縦走登山

弘法大師が経文を納めたと言われる巨岩「経石」がある経ヶ岳から、室町時代に清川村の正住寺を開いた仏果禅師が座禅修行したことからその名がついた仏果山、眺望の良い高取山を縦走するコースです。経ヶ岳、仏果山の頂上手前の登山道では岩場やヤセ尾根があり、ピーク間の高低差もあるため、健脚の方におすすめです。

参考コースタイム：♀半僧坊前【H90m】→（50分）→法華峰林道合流点→（40分）→経ヶ岳【H633m】→（20分）→半原越え【H480m】→（35分）→土山峠との分岐→（60分）→仏果山【H747m】→※以下「①仏果山・高取山登山」のコースと同じ。

●歩行時間　約５時間30分　●高低差　約650m

仏果山からの眺望

③富士居山ハイキング

向山付近眺望

甲斐の武田、小田原の北条が戦った三増合戦の古戦場の一端を通る緑に囲まれたコースで、軽登山に適しています。コースから外れ、清正光や志田峠にも立ち寄ることができます。

参考コースタイム：♀半原【H120m】→（10分）→真名倉登山口→（30分）→大峰【H334m】→（25分）→向山【H375m】→（60分）→富士居山【H253m】→農村環境改善センター→（5分）→♀上志田【H150m】※上志田からのバス便がないときは、三増バス停が最短（30分）

●歩行時間　約２時間30分　●高低差　約250m

パーク&ウオーク　公園・森林コース

駐車場に車を止めて周辺をゆっくり散策できるエリアをご紹介します

④宮ヶ瀬ダム・県立あいかわ公園散策

宮ヶ瀬ダムは重力式コンクリートダムで 堤高156m、ダム内にはエレベーターがあり天端に上がることができます。天端に上がると、約2億トンの水をたたえる首都圏最大級の水がめである宮ヶ瀬湖が広がります。宮ヶ瀬湖は、愛川町・相模原市・清川村にまたがり、その広さは東京ドームのおよそ100倍です。遊覧船で湖面を周遊したり、ダムの役割や発電の仕組みがわかる水とエネルギー館を見学したりできます。また、宮ヶ瀬ダムの下には石小屋ダム、新石小屋橋があり、エメラルド色の水をたたえています。

県立あいかわ公園はダムに隣接し、風の丘、冒険の森など自然に触れながら散策したり遊んだりすることができます。その他にも、工芸工房村での手作り体験、郷土資料館など、見どころがいっぱいです。

また、宮ヶ瀬ダム、新石小屋橋は「あいかわ景勝10選」に選ばれています。

パーク&ウォーク：県立あいかわ公園駐車場に車を置き、宮ヶ瀬ダム、県立あいかわ公園を散策することができます。

アクセス：半原バス停から徒歩30分（ダム下まで）

県立あいかわ公園・風の丘

⑤八菅山・美林散策

八菅山の麓には、八菅神社があり、古くから山岳信仰の伝統を守り、今でも法要が行われています。300段の石段を有する八菅神社、神社の周辺には「八菅山いこいの森」があり、ドングリの小径、カエデ・スギの小径、やすらぎの広場、お花見広場など、大人も子供も楽しめる場所になっています。さらに登るとフィールドアスレチックのある展望台に着き、そこから愛川町を一望できます。

八菅神社参道の「スダジイの林」は「かながわの美林50選」に、八菅山と八菅神社は「あいかわ景勝10選」にそれぞれ選ばれています。また、八菅神社の社叢林（しゃそうりん）は県指定の天然記念物に指定されています。

パーク&ウォーク：八菅山いこいの森駐車場に車を置き、八菅山や八菅山いこいの森を散策することができます。

アクセス：八菅山いこいの森駐車場よりすぐ。バスの場合は一本松バス停より八菅山いこいの森駐車場まで徒歩30分

八菅山展望台

⑥鳶尾山森林散策

鳶尾山は八菅山と尾根つづきにあり、山道はなだらかで、気軽に散策が楽しめます。鳶尾山は桜の木が植栽されており、山頂からの眺望もさることながら、春には桜が咲き誇り、安らぎの場となっています。

パーク&ウォーク：八菅山いこいの森駐車場に車を置き、鳶尾山周辺を散策することができます。

アクセス：八菅山いこいの森駐車場より山頂まで徒歩30分。バスの場合は一本松バス停より八菅山いこいの森駐車場まで徒歩30分

鳶尾山頂付近

史跡めぐりコース

⑦三増合戦史跡めぐり

永禄 12（1569）年 10 月、甲斐の武田信玄と小田原の北条氏康の軍が戦った、名高い山岳戦「三増合戦（三増峠の戦い）」にゆかりのある史跡を巡るコースです。「三増合戦場碑」は、合戦から 400 年を経た昭和 44 年に激戦を後世に伝えるために建てられたものです。「旗立松蹟址碑」は、武田軍が大将旗を立てた巨大松があったと言われる場所にあり、ここからは、古戦場の全景を見渡すことができます。その他、「浅利明神」や「首塚」を巡ります。

アクセス：上三増バス停から出発し、浅利明神・旗立松・首塚・三増合戦場碑を経て、三増バス停まで、総距離約 6km、所要時間徒歩で約 2 時間

旗立松眺望

⑧志田峠

永禄12(1569)年の三増合戦で、武田方の山県昌景の率いる遊軍が、この道を韮尾根から下志田へひそかにかけ下り、北条方の背後に出て武田方の勝因をつくった地と伝えられています。

また、江戸中期以降は、厚木・津久井を 結ぶ道として、志田山塊東端の三増峠越 をしのぐ大街道となりました。

パーク＆ウォーク：農村環境改善センターの駐車場が利用できます。

アクセス：上志田バス停より三増合戦碑を経て徒歩約50分で峠に着きます。

志田峠付近

⑨三増峠

くずのはな

三増峠道は中世のころ、信濃（長野）や甲斐（山梨）から鎌倉へ向かう古街道でした。また、武田信玄と北条氏康の両軍が戦った三増合戦の折には、武田軍が通った道とも言われています。

アクセス：上三増バス停より、県道を25分ほど北に歩くと右手に峠入り口があり、そこから約20分ほどで峠に着きます。

⑩牛松山

かつて「山遊び」というその年の豊作を山の神に祈った民俗行事が例年八十八夜の夜（5月12日ころ）に行われ、老若男女がここに集まり、農繁期前の一日を清遊したところです。戦時中も、出征していく若者たちが、ともに青春との決別の思いを込めて、酒食を持ち寄り山頂で楽しみながら一日を過ごした貴重な社交の場でした。

アクセス：上三増バス停より、陸上競技場を経て徒歩約20分で山頂に着きます。またハイキングコースをかねて高峰小学校前もしくは梅沢バス停から霊園の中を通り、尾根道を上下に散策しながらゴルフ場の中を経て約70分で行くこともできます。

牛松山山頂

史跡めぐりコース

⑪八菅修験道

神仏混淆の信仰の聖地で、修験道の開祖と言われる役小角や、行基が峰入り修行を行ったといわれる八菅山。

峰入り修行は、八菅神社を一番行所としてスタートし、三十番行所の大山を目指すものでした。八菅修験ハイキングコースは、一番行所の八菅神社から二番行所である幣山の石神社を繋ぐルートになっていますので、歴史を感じながらハイキングを楽しむことができます。

アクセス：一本松バス停→八菅橋→八菅神社→八菅山展望台→幣山【石神社】→八菅橋→一本松バス停

所要時間：徒歩約2時間50分

まちなみ・清流コース

⑫古民家・古いまちなみ散策

明治初期の愛川町中津の豪農の住居で国登録有形文化財の「古民家山十邸」を経て、古くからのたたずまいを残す街道中津往還を北へ進むと龍福寺に到ります。そこから「かながわのまちなみ100選」に選ばれた下谷地区へ坂を下ると、6月には用水路にハナショウブが咲く「しょうぶの里」があります。山十邸、中津往還は「あいかわ景勝10選」に選ばれています。

アクセス：局前バス停より徒歩10分（山十邸まで）

しょうぶの里

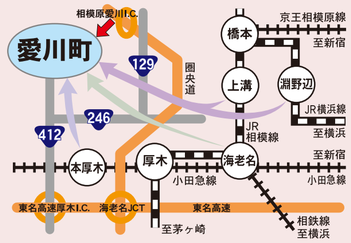
⑬中津川の清流と田園の道

「新日本歩く道紀行 100 選、ふるさとの道」に選ばれた、愛川町の豊かな自然を感じながら、中津川の清流と田園風景を散策するコースです。

アクセス：半僧坊前バス停から出発し、勝楽寺・平山橋・角田大橋・八菅橋を渡り、坂本バス停まで、総距離約 7km、徒歩で所要時間約 2 時間。

中津川の清流

交通のご案内



（公共交通機関でのアクセス）

●小田急線 本厚木駅下車
（①厚木バスセンター、②本厚木駅北口）
・野外センター前経由 半原行（田代、半原方面）：①・②
・田代経由 半原行（田代、半原方面）：①・②
・中荻野経由 上三増行（中津、角田、三増方面）：①
・三田経由 愛川バスセンター行（中津、角田方面）：①

●小田急線・相鉄線・ＪＲ相模線 海老名駅下車
・桜台経由・内陸工業団地経由 愛川バスセンター行

●ＪＲ横浜線 淵野辺駅下車
上溝経由田名　バスターミナル行　終点田名バスターミナル乗り換え、箕輪辻経由半原行

●ＪＲ相模線 上溝駅下車
田名バスターミナル行　終点田名バスターミナル乗り換え、箕輪辻経由半原行

（車でのアクセス）

●圏央道・相模原愛川IC→国道129号を愛川方面へ
●東名高速道路　厚木IC→国道129号「市立病院前」交差点左折→国道412号を愛川・津久井方面へ
●東名高速道路　厚木IC→国道129号「山際」交差点左折→県道63号を愛川方面へ
●中央道・相模湖IC→国道20号「駅前」交差点右折→国道412号を愛川方面へ

2023. 3. 2000